

# 香川大学公開講座「讃岐ジオガイド養成講座」と 「ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト探訪」の連携活動報告

長谷川 修 一  
鶴 田 聖 子

## 1. はじめに

ジオパークとは大地の公園を意味し、地質学的重要性を有するサイトや景観が、保護・教育・持続可能な開発が一体となった概念によって管理された、単一の、統合された地理的領域である<sup>1)</sup>。ユネスコ世界ジオパークは、国際的な地質学的重要性を有するサイトや景観が、保護・教育・研究・持続可能な開発が一体となった概念によって管理された、単一の、統合された地理的領域で、地域社会を巻き込みながら保全と持続可能な開発を行っているユネスコの正式事業活動である<sup>1)</sup>。

日本ジオパークは日本ジオパーク委員会が認定する国内版のジオパークで、2020年1月現在、43地域が認定されている<sup>2)</sup>。このうち9地域がユネスコ世界ジオパークに認定されている。四国では、室戸がユネスコ世界ジオパークに、四国西予が日本ジオパークに認定されており、また土佐清水市、三好市が日本ジオパークの認定を目指している<sup>2)</sup>。日本ジオパークのうち半分以上が国立公園地域と重複しているが、日本最初の国立公園の1つである瀬戸内海には瀬戸内を世界に発信するジオパークはまだ認定されていない。

香川県には、約1400万年前の瀬戸内火山活動によって形成されたサヌカイト等の火山岩類の学術研究、火山岩類が侵食されて形づくられた讃岐平野と備讃瀬戸の造形美、および里山や島の岩石を利用した多様な石の文化がある。讃岐ジオパーク構想では、香川県全域をジオパークの対象地域として、讃岐平野と備讃瀬戸の自然・歴史・文化を活かした地域の持続的な発展をめざしている（長谷川ほか、2013）<sup>3)</sup>。

筆者らは讃岐ジオパーク構想の推進を目的に、2010年から現在まで継続して香川大学公開講座「讃岐ジオサイト探訪」を開講し、香川県内の地形・地質と石の文化の魅力を発掘し、讃岐ジオパーク構想に必要なジオサイトの資料を作成するとともに同志の輪を広げてきた。そして、2013年度までの成果を香川大学生涯学習研究センター研究報告別冊「讃岐ジオサイト探訪」（長谷川・鶴田、2013）<sup>4)</sup>としてとりまとめた。2014年度と2015年度は、地形・地質と自然・歴史・文化等との関わりを理解する「讃岐ジオサイト探求」を開講した（長谷川・鶴田、2017）<sup>5)</sup>。2016年度からは「讃岐ジオガイド養成講座」を開講し（長谷川・鶴田、2018）<sup>6)</sup>、2019年度には18名の香川大学公認讃岐ジオガイドが誕生した。2019年度からは「讃岐ジオサイト探訪」に加えて讃岐ジオガイド養成講座の参加者が案内して各地を探訪する新規講座「ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト探訪」を試行し、2020年度から本格開講した<sup>7)</sup>。

2020年度は、香川大学公開講座「讃岐ジオガイド養成講座」と「ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト探訪」を連携して実施したので、その概要を報告する。

## 2. 香川大学公開講座

### 2.1 概要

「ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト探訪」は、香川県内の主要なジオサイトを訪ね、大地の成り立ちと歴史・文化との関わりを考えるとともに、同志の輪を広げていく講座である。「ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト探訪」は「讃岐ジオガイド養成講座」と連携しており、讃岐ジオガイドに認定されたガイドが、事前に下見を行い、担当地域のジオガイド同士で謎解きのお題、行程を立案し、ガイド役でない他の讃岐ジオガイドを招いて講座当日と同じ行程でリハーサルを実施して、コースやガイド方法の改善を行う。講座当日は受講者をガイドして、終了後に受講者にアンケートを行い、ガイド技術の向上を計っている。

2020年度、コロナ感染症拡大によって前期の公開講座がすべて中止され、10月1日から再開された。これに伴い、「讃岐ジオガイド養成講座」は7月5日から10月4日に変更し、4月～12月にかけて7カ所の講座を行う予定であった「ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト探訪」は白山（三木町）、爺神山と汐木山（三豊市）、飯野山南側の土器川と大東川（丸亀市）の3回実施することになった。

### 2.2 2020年度香川大学公開講座「讃岐ジオガイド養成講座」

#### （1）実施状況

「讃岐ジオガイド養成講座」は、香川県内のジオサイトを案内するジオガイドを養成するために、ジオガイドに必要な専門的な知識の共有、ガイド技術の向上、リスクマネジメント等を学ぶ講座である。讃岐ジオガイド養成講座に4回以上受講し、「讃岐ジオサイト探訪」「讃岐ジオサイト探求」「讃岐ジオガイド養成講座」の授業・現地見学に60時間（12回）以上出席した受講者は、香川大学認定讃岐ジオガイドの資格を得ることができる。令和2年度は18人の讃岐ジオガイドが誕生し、現在、小豆島2名、東讃地区4名、高松市7名、中讃地区2名、西讃地区2名の17名が活動している。

2020年度「讃岐ジオガイド養成講座」（表2.1）の受講者は、香川大学認定讃岐ジオガイド15名に加えて6名が参加した（受講者数21名：男性18名、女性3名）。日程変更のため、都合が合わず参加できない讃岐ジオガイドもいた。

「リスクマネジメント」の講義（講師：香川大学創造工学部 長谷川修一）では、ジオガイドは山の斜面や海岸での転倒、滑落、熱中症、蜂・マムシ被害に十分に注意してガイドを行うこと、また、万が一の備えとして、賠償責任保険（事業活動に関わる事故等で他人にケガをさせたり、他人の物を壊したりした場合に適用される保険<sup>8)</sup>）への加入の義務化が好ましいことを周知した。

「ガイド技術」の講義（エコツアーガイド 横山昌太郎氏）では、一方的に説明するのではなく、常に相手を見ながらコミュニケーションをとること、1回の説明は5分以内に切り上げること、話し足りない時は少し場所を移動してから話すことなど、お客様を飽きさせない工夫を学んだ。更に「お客様を楽しませ

表1 香川大学公開講座「讃岐ジオガイド養成講座」スケジュール

日程	内容	
10月4日（日）	10：00-11：00 ガイダンス・リスクマネジメント	講師：長谷川修一 （香川大学創造工学部）
	11：10-12：10 ガイド技術（ガイドに必要な要素）	講師：横山昌太郎 （エコツアーガイド）
	13：00-14：00 お客様を楽しませるプログラム作り	
	14：10-16：10 コミュニケーション（ワークショップ含む）	

るプログラム作り」では、お客様の興味や求めていることを知ること、必要に応じて植物の観察、鳥の観察時間を作ったり、ホワイトボードやタブレットで説明を行ったりすることで、ガイドにメリハリをつけることを学んだ。そして、「コミュニケーション」のワークショップでは、アイスブレイクの仕方、伝達の難しさを体験し、今後のガイド技術の向上に役立つことを学んだ。

## （２）讃岐ジオガイドを対象にしたアンケート結果

2020年度「ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト探訪」に参加したジオガイドにアンケートを実施した。今年度から香川大学認定讃岐ジオガイドはガイドに専念してもらうために講座受講者から外れてもらい、講座のガイド役・サポート役の他、下見、リハーサルを担当することになった。讃岐ジオガイドとしての新しい取り組みであるため、12月末日にアンケート調査を実施し、2021年度以降の活動に反映させる予定である。アンケート結果は以下のとおりである。

### ①2020年度公開講座にガイド役として参加した讃岐ジオガイドのアンケート結果

- ・よかったところは何か。

ジオガイドとして公開講座に参加して、「ひとつの糸口から次々と調べがすすんだり、シナリオを作る作業で充足感があったこと」「自分なりに調べたり、図書館で町史を調べたり、地元の方の話を聞いたりできたこと」がよかったと回答している。

- ・どのようなことがうまくいかなかったか。

「受講者に知識や関心の差があり、どこに集中して話したらいいかが難しかった」、「リハーサルと本番で参加者人数にギャップがあった」ため時間の配慮ができなかった、と反省材料が挙げられた。

- ・何に苦労したか。

「石（地質）の種類など、自分自身がよくわかっていないこと」に苦労したと、ジオガイドの難しさを感じている人もいた。「讃岐ジオガイド養成講座」で、香川県の地形・地質についてもう少し勉強が必要と感じているとの回答もあった。

### ②2020年度公開講座にサポート役として参加した讃岐ジオガイドのアンケート結果

- ・担当ガイドの参考になったところはどこか。

サポート役として講座に参加すると、担当ジオガイドを客観的に見ることができるため「ジオ関係の実物資料を用意していた」ことや「事前調査、話の組み立て方」などが参考になったと回答している。

- ・サポート役として何ができそうか。

担当ジオガイドがたくさんいる地域では、担当ジオガイドで対応可能であるため「ほかの地域のサポートはあまり必要ない」と考えている人が多かった。次年度からは、交通整理、出欠チェック等の手助け等の作業分担等について適切に人員配置する必要がある。

### ③本年度、「ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト探訪」に参加できなかった讃岐ジオガイドのアンケート結果

- ・下見、担当ガイドのリハーサルは参加したか。

たくさん参加している人と参加していない人のばらつきがあった。下見、リハーサルでは日程があわず参加できなかった人がいるようである。

- ・来年度、講座にサポーターとして参加したいか。

「サポーターとして参加していきたい」「人数の制限がなければできるだけサポーター参加もしたい」

とサポート役参加は好意的であった。

・今後の課題は何か？

「人数が多いと話の内容にばらつきがあるため、小グループに分かれた方がよい」と考えているジオガイドもあり、説明の仕方の工夫が今後の課題である。

④今後の課題、要望

「サポート役にタイムキーパーをお願いし、集合を徹底する」「リハーサルではサポート役が本番でどう動いたらよいか相談する」等サポート役の役割などが挙げられた。また、「ジオパーク構想認知度向上に向けて、YouTube配信できればいい」と讃岐ジオパーク構想の広報活動のアイディアも出た。

⑤今後、香川大学公開講座や独自の研修会・勉強会で、どのようなことを学びたいか。

香川大学公開講座で「他のジオパークの取組みが知りたい」や「地質学を学びたい」「地質の基礎知識を増やしたい」「分かりやすく説明するためのガイド手法を知りたい」などが挙げられたため、来年度の「讃岐ジオガイド養成講座」では、地質学の基礎や他のジオパークとの連携を行う予定である。

また、「同じ場所でのいいので、何回もガイドの実習を行う」「讃岐ジオパーク構想の全体ストーリーを考え、そのストーリーを毎回のガイドに反映していく」などのジオパークの現地審査時に役立つ意見も出た。

事務局への要望としては、「受講者アンケートで事前に知識や関心を把握し、ジオガイドがそれに合った説明ができれば満足度が高まる」、「ガイド役全員が自分の担当ヶ所以外の資料を共有化して保持し、参加者からの質問に適切に対応できる体制が望ましい」と意見が出たので、今後反映したい。

以上のアンケート結果を踏まえ、今後の讃岐ジオガイドが活躍しやすい環境づくりを目指していきたい。

## 2.3 2020年香川大学公開講座「ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト探訪」

### 2.3.1 実施状況

2020年度の香川大学公開講座「ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト探訪」は、10月～12月に白山（三木町；10月）、爺神山と汐木山（三豊市；11月）、飯野山南側の土器川と大東川（丸亀市；12月）が実施された。前年度まで受講生側であった讃岐ジオガイドが受講者でなくなったことで、定員30名（男性21名、女性9名）のうち18名の新規受講者が新たに加わった。



ガイダンスとリスクマネジメント  
危険を常に予測することもジオガイドの役目  
(講師：長谷川 修一)



コミュニケーション作りのためのワークショップ  
人に伝えることの難しさをゲームで体感  
(講師：横山 昌太郎氏)

写真1 2020年度香川大学公開講座「讃岐ジオガイド養成講座」受講状況



## (1) 白山 (三木町)

①探訪日時：2020年10月18日 (日)

②受講者数：29名 (男性20名、女性9名)

③ガイド役：松岡太、友國和俊、岡田武久、渡辺加奈

④お 題：ジオが分かれば山登りが10倍楽しくなる！

⑤コ ー ス：白山神社→案内板→大添・小添の墓→細川清氏の墓→風化花崗岩→安山岩の柱状節理と流理  
→白山山頂 (三木町の地形、白山の地質、景観と校歌) →安山岩のたまねぎ状風化→白山神社

⑥連 携 先：三木町教育委員会

⑦内 容：

三木町は新川と吉田川の中流に広がる田園地帯と、上流域に広がる丘陵地帯から構成される。白山は讃岐七富士の1つ、東讃富士としても知られ、戦国時代には山城として利用された。また、讃岐の東西に走る南海道が白山の南を通っていたと推定されており、白山は道中の目印として使われていたと考えられる。なぜ、白山が三木町のランドマークになったのか、旧新川のルートはどこを通っていたのか、なぜ新川の流れは人工的に替えられたのかを順を追って紹介していった。

⑧アンケート結果 (図1)

新規受講者が多くなったことに加えて、第1回目の講座であり、「途中で休む時間がほしい」「興味の少ない人が聞いても分かるような工夫が必要」「図を使って説明してほしい」「説明をしすぎないことが必要」などの改善点が寄せられた。お題は「白山はなぜ東讃のランドマークになったのか?」「白山の構造はアポロチョコか、えんぴつか?」など、地形、地質に焦点を合わせたお題案が寄せられた。一方で、「節理・流理の説明がよかった」「川の説明がよく分かった」「歴史が分かった」「校歌が意外な視点で楽しかった」などの感想もあり、「次回の登山が10倍楽しくなりそうです」とのコメントもいただいた。

## (2) 爺神山と汐木山 (三豊市)

①探訪日時：2020年11月29日 (日)

②受講者数：25名 (男性17名、女性8名)

③ガイド役：前川久則、横山昌太郎

④お 題：なぜ藤原京の瓦を讃岐で焼いたのか?

⑤コ ー ス：三豊市役所駐車場→JR高瀬駅→爺神山遠景→爺神山採石場跡→大師堂→瓦谷→

宗吉瓦窯跡史跡公園→古三津湾→高津神社→高燈籠→汐木港跡→回転橋→高地蔵→JR詫間駅

⑥連 携 先：宗吉瓦窯跡史跡公園

⑦内 容：

三豊市高瀬町、三野町、詫間町西部には、新第三紀中新世の讃岐層群を山頂にいただく爺神山、汐木山などの孤立丘、天霧山、七宝山などの山塊に囲まれた低地 (古三野津湾) がある。古三野津湾は3m未満の低地で、1976年 (昭和51年) の台風災害では集中豪雨により大きな被害を出した。現在の海岸線から4km内陸には古代の藤原京の瓦を生産した宗吉瓦窯跡があり、藤原宮にも使用されていた。瓦の生産が行われていた7世紀中ごろ～8世紀初めごろまで、史跡公園のすぐ近くまで古三野津湾が進入していたと考えられる理由を、土地条件図、標高図からひも解き、17世紀以後に行われてきた三野津湾の干拓と、低地の田園に水を供給するため地元の人たちが尽力してきた近代の歴史を紹介した。

## ⑧アンケート結果（図2）

全体的に好評で、「机上ではわからないことを知ることができた。」「香川県のことをもっと知りたくなった。」火山岩頸の断面が見える爺神山では「爺神山採石場跡で柱状節理、山のでき方がよく分かった。」との声が寄せられた。また、「分かりやすいイラストと丁寧な説明だった」「ガイドが参加者の状況把握をしながら説明していたので、疑問や質問を積極的にする雰囲気が醸成されていた」「人の水の戦いぶりや港でのにぎやかな様子が目に浮かぶ説明だった」など、ガイド役の事前準備、説明手法、段取りに満足している受講者も大勢いた。この講座から新しい拡声マイクを利用したことから「マイクがよく通り、聞き逃すことが少なかった」と好評いただいた。

## （3）飯野山南の土器川と大東川（丸亀市）

①探訪日時：2020年12月13日（日）

②受講者数：25名（男性16名、女性9名）

③ガイド役：山本和彦、都築克徳、山下直樹（ガイド補助員）

④お 題：なぜ飯山南は米どころになったのか？

⑤コ ー ス：飯山南コミュニティセンター→逆さま川→法勲寺跡→讃留霊王神社→岡田台地礫層  
→八坂神社→八幡神社→寺井出水→大窪池→上法軍寺断層→王子神社→出発点

⑥連 携 先：飯山南コミュニティセンター、讃留霊王古墳保存研究会

⑦内 容：

丸亀市飯山南地区は土器川の東側に位置し、南には岡田台地、岡田台地の北端には古墳時代前期の前方後円墳と讃留霊王を祀る讃留霊王神社があり、その東側の低地には奈良時代前期に創建された法勲寺跡がある。現在、農地に供給されている水源の1つである大東川は岡田台地の北西端を開削して法勲寺跡に流れ込み、古代寺院法勲寺を囲むように流れている。地形に逆らう区間は「逆さま川」と呼ばれている。なぜ逆さま川は地形に逆らって流れているのか、土器川と大東川はどのようにして現在の流路になったのかを考えながら案内した。

岡田台地で露頭観察を行った際、吉野川で見られる片岩類の礫が複数個見つかった。古吉野川は300万年前には讃岐平野に流れていたと推定されているが、片岩礫の見つかった岡田台地は10～20万年前にできた新しい地層であるため、岡田台地にある片岩礫は再堆積したものであることに気づくことができた。

また、ジオガイドが事前調査を行った際、工事現場で深度2mに腐植土を発見し、炭素同位体年代測定で最終氷河期の2万年前の地層であることが分かった。飯山南地区は2万年前から湿地帯であったことが分かり、水田との関係がよく理解できるようになった。

最後に行われた断層実験では、断層運動によって讃岐山脈が隆起し、その北側の讃岐平野に新しい断層が現れる様子を実際に見ることができた。実験を取り入れることで断層のでき方をイメージしやすく、飯山南地域の地形、地質を分かりやすく伝えることに役立った。断層実験の事前試験で使われた小麦粉とココアパウダーは、山本ジオガイド手作りの断層クッキーとして当日参加の受講者に振舞われた。

## ⑧アンケート結果（図3）

「資料や実物の提示がありよく理解できた」「ガイドがお互いにタイムキーパーをしていた」「最後のまとめもよかった」と高評価であった。新しい試みである断層実験と実験で使った小麦粉を利用した断層クッキーも好評で「断層モデル実験の映像がよかった」と記載している受講者もいた。



ガイダンス（地域連携・生涯学習センター）  
讃岐ジオパーク構想について講義



白山山頂（三木町）  
瀬戸内海まで見渡せるパノラマビュー



爺神山の断面観察（三豊市）  
おむすび山はビューではなく火山岩頸



飯野山（丸亀市）  
飯野山の南側は稲作地

写真2 2020年度香川大学公開講座「ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト探訪」受講状況

### 2.3.2 全体アンケート

香川大学公開講座「ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト探訪」全体のアンケート結果（図4）によると、「とても楽しかった」「大変興味が増した」と概ね好評で、新規受講者も楽しんで参加していたことが分かる。一方で内容理解度は、「あまり分かりやすいとはいえない」と考えている受講者がいたことから、今後の講座では、図・写真のパネルを使ってもっと分かりやすい説明を心掛けていく予定である。また、専門用語を使わずにうまく説明することも、今後の課題である。

## 3. 関連行事

### 3.1 香川大学 ジオパーク×防災シンポジウム

#### (1) 概要（図5、写真3、4）

2020年9月26日（土）、OLIVE SQUARE多目的ホールにおいて、「香川大学 ジオパーク×防災シンポジウム」を開催した。（主催：四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構、創造工学部、共催：（一社）四国クリエイティブ協会、神戸大学高等研究院海共生研究アライアンス、讃岐ジオパーク構想推進準備委員会）当シンポジウムは、新型コロナウイルス感染症対策として、入場前の検温の実施、手指消毒の励行、



会場の3密回避やアクリルパネルの設置等を行うとともに、会場参加の人数を制限し、YouTubeのライブ配信を行った。参加人数は364名（会場参加人数81人（メイン会場67名、オンライン会場14名）、オンライン視聴者（265名）、アーカイブで残っているYouTube動画は2016回（2021年2月1日現在）と好評であった。



写真3 メイン会場の基調講演の様子  
「ジオパーク：世界一の「変動帯」日本列島に暮らすということ」 巽好幸先生（神戸大学教授）



写真4 YouTube配信の基調講演の様子  
「大地がもたらす恩恵と災いをジオパークで発見する」 中川和之先生（時事通信解説委員、日本地震学会理事）

## （2）アンケート結果（図6）

### ①回答者の属性

アンケート回答者は全員で179名（男性139名、女性40名）、60歳代の回答が一番多く55名、次いで70歳以上の36名、50歳代の30名と続く。オンラインとの併用であったため、179名のうち県外からの回答者も64名いた。

### ②シンポジウムの満足点

「ジオパークの本質は草の根運動」とであるという言葉が印象的だったようである。また「ジオパークと防災と個々に捉えていたものがそれぞれつながっていることが分かった」と、ジオパークのストーリー性の重要さにも触れられていた。

### ③防災について理解できたか。

「香川県に災害が少ないため防災という考えが不足していた」「その土地の成り立ちや自然災害の歴史を知っておかないと、有効な防災意識を持つことができない」「外から見れば観光、内に語れば防災。次は子どもたちにどう語っていくか考えたい」など、防災と恩恵が隣り合わせにあることが分かり自分の意識を思い返すきっかけになったようである。

### ④地域作りについて理解できたか。

「地域の成り立ちを知れば意識も変わると思った」「ジオパークとは持続可能な地域作りに直結した構想だと思った」「地域の特色をたくさんの人に知ってもらい、当地に来てもらうことが地域の活性化につながると思う」との感想をいただいた。

### ⑤意見・感想

「若い世代へも教育していく必要はあるが、地元の自治会などを活用し広めていくことも必要である」「定期的に状況報告を兼ねたシンポジウムを開催していただきたい」「地域の皆さんに防災等の視点を含む



讃岐ジオパーク構想についての啓発が必要だと思う」「様々な取組を役所・図書館等や広報誌などで情報発信することなども有効と思う」等、讃岐ジオパーク構想の周知方法について意見をいただいた。本年度はコロナ禍対策でオンラインによる同時配信を行ったが、今後もシンポジウム等がある時はオンライン配信の併用を求める声が多く聞かれた。

### 3.2 山陰海岸ユネスコ世界ジオパーク主催「みんなの発表会」での取組み紹介

2021年1月24日（日）に山陰海岸ユネスコ世界ジオパーク主催「みんなの発表会」が開催された<sup>9)</sup>。発表会では、2020年の香川大学公開講座「ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト探訪」12月に行われた飯野山南の土器川と大東川（丸亀市）を担当していた讃岐ジオガイドの山本和彦氏、都築克徳氏が、「讃岐ジオガイドが巡る丸亀市～米作りと断層の関係」と題して飯山南地区の取組みを紹介した（図7、写真5）。

今年の「みんなの発表会」はコロナ禍でZoomによるオンラインでの開催で、発表者他讃岐ジオガイド計12名が丸亀市飯山南コミュニティ多目的ホールに集まり聴講した。

今回の発表会で対外的に、丸亀市飯山南地区の讃岐ジオガイドの活躍についてアピールするとともに、「讃岐ジオパーク構想」について発信することができた。山陰地域の方が多く視聴している中で香川県ローカルの話であったが、視聴者の反応もよく多くの質問が寄せられた（表2）。視聴者のコメントの中には「難しい言葉が色々出てきましたが、参加者はすぐ理解できたのでしょうか？」と専門用語を使うことに対するご意見もいただいた。今後、讃岐ジオガイドのスキルアップとして、参加者に合わせた解説の仕方を工夫していきたい。



図7 発表スライドの表紙



写真5 オンラインを使った発表

### 3.3 ジオパーク×アート「サヌカイト講演会」

2021年3月11日には、サヌカイト石器の産地であり、サヌカイト楽器の展示・演奏施設がある坂出市金山の「けいの里」で、～東日本大震災から10年～「サヌカイトフォーンによるレクイエム」と「巽好幸先生が語るサヌカイト」講演会（主催：香川大学創造工学部・四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構）を実施予定である。

表2 「みんなの発表会」聴講者からのコメントと発表者からの回答

	質問及びコメント	回答
1	空海の若かりし頃の修行の場所も、火山岩の侵食でできたのでしょうか。	空海が修行した我拝師山も火山岩の侵食でできた。
2	片岩礫とは何でしょうか。	片岩礫とは変成した結晶片岩で、徳島県に分布している。
3	片岩礫は三豊層群からの再堆積という可能性はないのでしょうか。	片岩礫は三豊層群からの再堆積と考えている。
4	片岩礫の発見がどうすごいのか、説明が欲しい。	香川県には結晶片岩は分布しない。旧吉野川が香川県側に流れていた頃、徳島県の岩石が香川県側に運ばれたことの裏付けになる。
5	片岩礫発見すごい！	
6	吉野川は元々土器川だったんですね。	
7	質問ではありませんが、以前雨滝自然科学館さんのガイドブックに資料提供させていただきました。今後もお付き合い出来たら幸いです。	
8	片岩礫、噴礫、中位段丘、扇状地、サヌカイト、中央構造線など難しい言葉が色々出てきましたが、参加者はすぐ理解できたのでしょうか？	

#### 4. おわりに

現在までに香川大学公開講座で訪問した地点も増え、讃岐ジオサイトの資料も51地点となった。「ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト探訪」ではコロナ禍の中受講者は増え、讃岐ジオパークをめざす仲間の輪も新たに広がってきた。「ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト探訪」の講座も2年が経過し、讃岐ジオガイドの技術も向上してきた。今後さらにジオガイドとして研鑽を積むため、来年度の香川大学公開講座「讃岐ジオガイド養成講座」では、座学で四国の地形・地質の基礎を学び、野外では地形・地質を見て学ぶことのできるジオサイトを探訪する。また、現在ジオパークを目指している徳島県三好市ジオパーク推進室の専門員に、三好ジオパーク構想の取組みについて講演いただいた後、三好ジオガイドと交流し、讃岐山脈の南側と北側のジオサイトと風土との関係について情報を共有し、活動を県外に広げる予定である。

#### 参考文献：

- 1) 日本ジオパーク委員会：<https://jgc.geopark.jp/whatsgeopark/index.html>（2021.1.28閲覧）
- 2) 日本ジオパークネットワーク：<http://www.geopark.jp/>（2021.1.28閲覧）
- 3) 長谷川修一・鶴田聖子・寺林優・高木知巳・前田宗一：讃岐ジオパーク構想，日本応用地質学会中国四国支部平成25年度研究発表会論文集，19－24，2013.
- 4) 長谷川修一・鶴田聖子：香川大学生涯学習研究センター研究報告別冊「讃岐ジオサイト探訪」，2013.
- 5) 長谷川修一・鶴田聖子：香川大学公開講座「讃岐ジオサイト探求」活動報告，香川大学生涯学習教育研究センター研究報告，第22号，2017.
- 6) 長谷川修一・鶴田聖子：香川大学公開講座「讃岐ジオガイド養成講座」活動報告，香川大学生涯学習教育研究センター研究報告，第23号，2018.
- 7) 長谷川修一・鶴田聖子：香川大学公開講座「ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト」活動報告，香川大学生涯学習教育研究センター研究報告，第24号，2019.

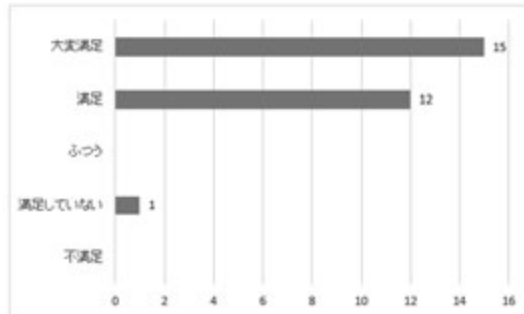
- 8) 保険の窓口グループ：[https://www.hokennomadoguchi.com/houjin/column/baishousekininhoken\\_detail.html](https://www.hokennomadoguchi.com/houjin/column/baishousekininhoken_detail.html) (2021.1.28閲覧)
- 9) 山陰海岸ジオパーク第4回みんなの発表会：[https://dc171f52-ca4c-42ed-964c-73904c1636b5.filesusr.com/ugd/ca20a7\\_77a26a659cd5492bb986140f917567a7.pdf](https://dc171f52-ca4c-42ed-964c-73904c1636b5.filesusr.com/ugd/ca20a7_77a26a659cd5492bb986140f917567a7.pdf) (2021.2.1閲覧)



2020. 10. 18  
香川大学  
長谷川研究室

## ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト「三木町白山」受講者アンケート（結果）

## 1. 今日の講座はどうでしたか？



## 2. 満足している点と満足できない点があれば教えてください。

満足：

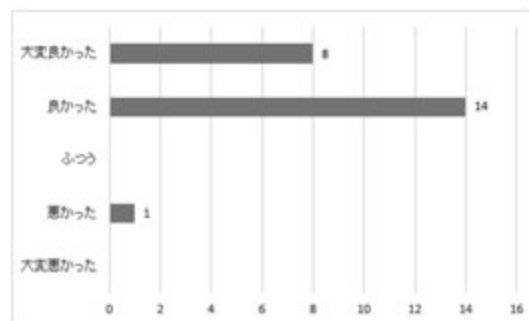
- ・頂上からの眺望がよかった。
- ・安山岩、花崗岩を実際に見ながら歩けた。
- ・地形、地質、歴史を詳しく説明して頂けて良く解った。
- ・地質、川の流路、土砂の説明
- ・川の砂と上流の土との関係
- ・ガイドの分野がたくさんあり、おもしろかった (2)。
- ・色々な話を聞いて勉強になった。
- ・日頃はなんとなく歩いているところも太古の昔を想像すると楽しかった。
- ・地形、地質、山の形成について良くわかった。
- ・各ガイドの得意なテーマによる白山の話もバラエティに富んでいた。
- ・文化・歴史の面からの説明もありよかった。
- ・内容が濃かった。
- ・地質の境界が見れた。
- ・よく調べていた。
- ・白山を核としてジオパークの視点で三木町の地域を深く知ることができた。
- ・コロナ禍の中、開催していただいたこと。登山の安全確保。ガイド作成の資料、サンプル、小物、班分け、SNS 映えスポット (山頂)

満足できない点

- ・途中で何回か休憩時間が欲しかった。
- ・山頂で1時間解説を聞くのがつらかった。
- ・校歌の話はなくてよいかもしれない。
- ・火山岩の流れと方向を図で説明してほしい。

- ・人が多くて、岩や景観が見えにくかった。
- ・内容が多すぎた。
- ・歴史、川の説明が長くて、立って聞くのが疲れた。
- ・流理構造と節理について事前学習の機会がなかったの  
で、よくわからなかった。
- ・マニアではなく、まったく知らない、興味のない人が  
聞いてもわかるような工夫が必要。今後、ジオガイド  
を普及させるには必須条件。
- ・ジオめし。(グルメ) がなかったことも減点。

## 3. 説明はよかったですか？



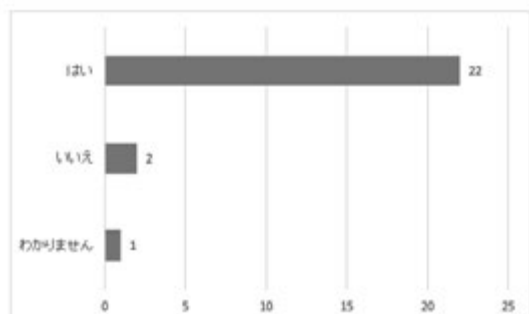
## 4. どの説明がよかったですか？

- ・おむすび山の中の安山岩の節理について
- ・地質、川、文化
- ・校歌 (4)
- ・パネルを使った説明が分かりやすかった。
- ・三木町の歴史が分かった。
- ・地形、地質、景観
- ・地質の説明
- ・校歌が意外な視点で楽しかった。
- ・岩石、川、校歌
- ・どの説明も分かりやすかった (2)。
- ・頂上からの眺めで川の説明がよくわかった。
- ・流理・節理の説明 (2)
- ・地形の説明
- ・最後の今日のまとめ
- ・川のサンプルを使った説明
- ・個々の事象についての説明が充実していた。
- ・資料や実物の提示がありよく理解できた。
- ・質問から始まるガイドの方がよかった。最初質問が  
でて、ヒント、まとめの順で、Yes/No、選択問題があ  
るとよかった。

図1 (1) ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト探訪「白山 (三木町)」アンケート結果

2020. 10. 18  
香川大学  
長谷川研究室

# 5. お題「ジオが分かれば山登りが10倍楽しくなる！」 は適切でしたか？



## その他「お題」(案)

- ・ 白山にはなぜ天狗がいたのか？
- ・ 白山はなぜ東讃のランドマークになったのか？
- ・ 白山の構造はアポロチョコか、えんぴつか？  
(アポロチョコがどの世代までイメージできるかちょっと心配。)

## 6. ジオガイドによる説明をよりよくするための改善点を教えてください。

- ・ 歴史の話は、ジオとの関わりをもう少し加えるとよかった。
- ・ 水分補給の時間が欲しかった (2)。
- ・ ジオガイド 4 名なら、4 班に分けてほしかった。
- ・ 熱意があつてよかった。
- ・ 内容を精選してもよい。
- ・ 座学を先にしてからフィールドワークがよい。山歩きは縦に長くなる隊形で説明が分かりにくくなる場合があるから。
- ・ 2 班に分かれて説明を受けたのはよかった。
- ・ パネルが見にくいときがあった。
- ・ 露頭説明は 1 ヶ所 3～5 分にすることが望ましい。
- ・ 全体に長い説明が多かった。
- ・ 松岡さんのはじめと終わりの説明が分かりやすかった。
- ・ 説明資料を A3 に統一してはどうか。
- ・ ガイドが転んでいたのを見て、雨上がりの山道はスリッパするので、当日状況を見てルートの変更をする判断も必要であると思った。
- ・ お客様の立場に立って、テーマ以外の内容は話さない、説明しすぎないことが必要だと思った。
- ・ 全体での説明計画をガイドが十分にすることがあるのではないかと思った。その例としては参加者を 3 班程度に分け、全体での説明と班ごとの説明の場面を明確にするといいのではないか。また、ガイド同志の時間配分の十分な打ち合わせなど。

- ・ スタートの時点で危機管理(危険な生物や地形など)の説明を必ず入れる必要があるのではないか。
- ・ ルートマップを参加者に作成しながら歩いてもらいながら、ガイドがポイントを説明すると説明が効果的になると思う。さらに、参加者の活動量(体を動かす:記録や記入、観察などの量)を増やすと主体的に参加でき、ガイドも主題に集中できるのではないか。
- ・ 説明ポイントごとにワークシート(カード)を配布すると見てもらいたい場面や事象などが明確になるのではないか。
- ・ お題について、最後のまとめ・振り返りをするにより理解できたのではないかと今回の場合だと「讃岐ジオサイト:白山周辺」をまとめの時間に配布するとかなど。
- ・ 常に参加者に五感を使ってもらうことを意識したガイドが必要ではないか。
- ・ 火山岩類は一般的イメージの火山と異なり、噴火口がないので、一般の人には理解しづらい。メサもそうですが、想像も含めて成り立ちの図が必要。また、メサや火山岩類の日本での分布などから、希少性があれば興味がわく。

## 7. その他自由記述

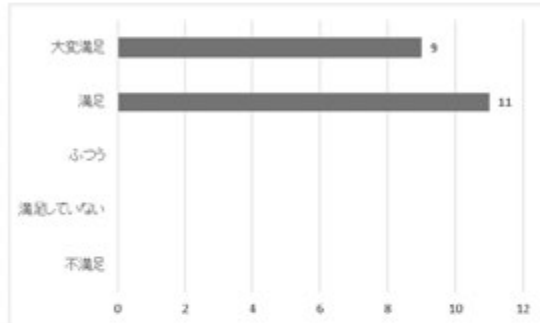
- ・ 次回の登山が 10 倍楽しくなりそうです。
- ・ 白山は何度か上ったことがあるが、階段がきついことしか記憶にないが、今回参加できてジオの良さが分かった。
- ・ 久しぶりの登山で疲れた。
- ・ 準備されたジオガイドの皆さん、お疲れさまでした。ありがとうございました。
- ・ 人数が多いので大変だと感じた。
- ・ 内容がすごく多い。
- ・ 集合写真がなかった。
- ・ ガイドする地域の市町の全体像が分かるパンフレット(要覧、マップ等)などを準備するとヒト・コト・ジオのつながり考えることができるのではないかと。
- ・ 流理と節理が直交するのはなぜですか？(質問)
- ・ 大添、小添は知らなかった。故郷忘じがたく候
- ・ 鳥居のネーミング  
「飛行機と雲海の鳥居」  
「飛翔の鳥居」  
「空に映える鳥居」

図 1 (2) ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト探訪「白山(三木町)」アンケート結果 2

2020. 11. 29  
香川大学  
長谷川研究室

## ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト「爺神山・汐木山」受講者アンケート（結果）

### 1. 今日の講座はどうでしたか？



### 2. 満足している点と満足できない点があれば教えてください。

満足：

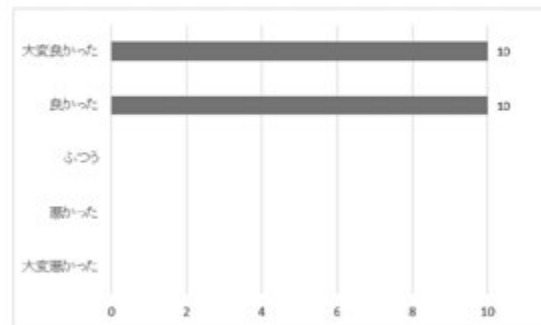
- ・分かりやすいイラストと丁寧な説明
- ・地元で住んでいるが知らないことがいっぱいだった。
- ・三野町の地形の成り立ちがよくわかった。
- ・条里制の田が干拓によるものだとかわかった。
- ・爺神山採石場跡で柱状節理、山のでき方がよく分かった。
- ・後半、三野津湾から瓦を藤原京に運ぶ、また海を閉じることで、できた土地を活用する上でいろいろな工夫をしていくこと、それが大変だろうと思った。人間ってすごいなとも感じた。
- ・爺神山の地層がみれてよかった。
- ・宗吉瓦、汐木、回転橋がもしろかった。
- ・地元でありながら知らないことが多く、大変もしろかった。
- ・初めての参加だったが、内容がよく理解できた。
- ・下調べの上での丁寧な説明でよかった。
- ・爺神山に入ることができた。
- ・詫間の歴史を知ることができた。
- ・マイクがよく通り、聞き逃すことが少なかった。
- ・資料作成の準備がよかった。（三野津湾の変遷など）
- ・横山さんのガイドは、速度や周囲の気遣いがよく、プロのガイドの要領が参考になった。
- ・地形、地質、歴史、文化すべてが繋がっていると思った。
- ・聞きやすい場所で説明してもらった。話すスピードも聞きやすかった。爺神山の火山岩頭の様子がよく

浮かぶ説明だった。

満足できない点

- ・やはり「密」になってしまう。

### 3. 説明はよかったですか？



### 4. どの説明がよかったですか？

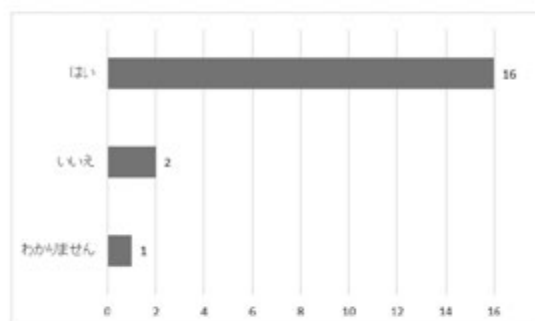
- ・すべてよかった 3
- ・図を使った説明がよかった。
- ・①爺神山遠景、②爺神山採石場跡、⑥古三津湾、⑩汐木港跡、⑪回転橋、⑫高地蔵がよかった。特に爺神山採石場。
- ・汐木の昔がよく分かった。 2
- ・運河の話
- ・①爺神山遠景、②爺神山採石場跡、⑤宗吉瓦窯跡史跡公園
- ・爺神山の説明がよかった。
- ・資料を使っでの説明で、分かりやすかった。
- ・前川マップが分かりやすかった。
- ・すべてよかった。特に②爺神山採石場跡（実際の山を見て花崗岩と讃岐岩質安山岩の境界を知ることができた）、⑥古三津湾（ガイドを聞きながら入植した方々の苦勞に思いをはせることができた）

図2（1） ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト探訪「爺神山・汐木山（三豊市）」アンケート結果



2020. 11. 29  
香川大学  
長谷川研究室

5. お題「なぜ藤原京の瓦を讃岐で焼いたのか！」は適切でしたか？



・（ガイドの立場から）

参加人数に対してスタッフが少なすぎはしないか？  
ガイド、交通係、総合司会全部をやるのはどうなのか？  
今回のケースであれば、交通係1名、総合司会（兼ガイドの補佐）1名がほしかった。

・三野津湾の変遷

6. ジオガイドによる説明をよりよくするための改善点を教えてください。

- ・説明時間は簡素でできるだけ短くがよい。
- ・今のままで充分。
- ・視覚的な資料を工夫して、とても分かりやすかった。
- ・回転橋のしくみには模型があるといい。
- ・時間をもっと有効に使ってほしい。
- ・古文の歴史的記述の証明（干拓事業など）があれば、もっとよかった。
- ・長距離だったが、JR の利用ができるコースなので、1日コースとして今後もガイドできると思った。

7. その他自由記述

- ・天気がよく快適だった。
- ・⑨汐木荒魂神社はやはり登りたかった。2
- ・いつも何気に通っていた道路にこんな秘密があるなんて、とても感動した。
- ・ガイドの説明が分かりやすかった。
- ・準備がよくできていた。
- ・歩いた意味があるツアーだった。机上ではわからないことを知ることができた。
- ・8 km歩くということでやや不安だったが、ガイドのお二人が途中で色々な興味深いお話をしてくださり、あっという間の1日だった。香川県のことをもっと知りたくなった。
- ・図や写真が大変分かりやすかった。

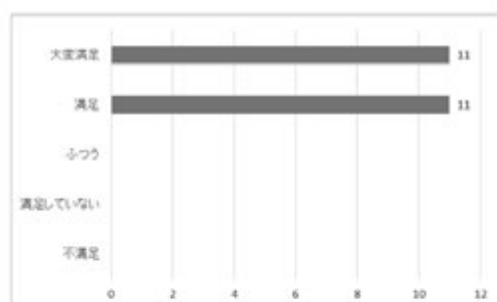
図2（2） ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト探訪「爺神山・汐木山（三豊市）」アンケート結果2

2020. 12. 13  
香川大学  
長谷川研究室

# ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト「飯野山南の土器川と大東川（丸亀市）」

## 受講者アンケート（結果）

### 1. 今日の講座はどうでしたか？



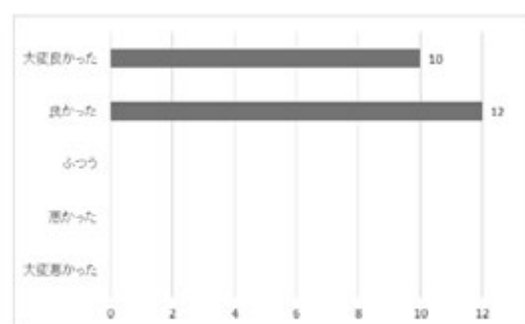
### 2. 満足している点と満足できない点があれば教えてください。

- ・飯山南地域のジオや文化を深く知ることができた。
- ・地質や地層だけでなく、各地の歴史なども詳しく説明いただいた。
- ・池の土手から見ると地形がよくわかった。
- ・地域の方の詳しい説明で当時のしがらみが分かった。
- ・案内人の声が聞き取りやすかった。
- ・多方面に話が聞けて興味深かった。
- ・説明、図などもありよかった。最後のまとめもよかった。
- ・個々の地点での観察の視点についての説明が充実していた。
- ・資料や実物の提示がありよく理解できた。
- ・断層モデル実験の映像がよかった。
- ・時間配分の調整がよくできていた。
- ・ガイドがお互いにタイムキーパーをしていた。
- ・ガイドが参加者の状況把握をしながら説明していたので、疑問や質問を積極的にする雰囲気醸成されていた。
- ・すべての説明が丁寧でよく理解できた。
- ・自分の知識不足で内容が理解できないことが多かった。今後もっと勉強して参加したい。
- ・地域の研究を深堀出来た（米どころ）
- ・説明が分かりやすかった。
- ・実験がとてもよかった。おかげで断層についてわかった。
- ・10万年前にできた岡田台地、1万年前にできた扇状地、それは土器川の流れがかわったからということが

わかった。

- ・自分の知識がなく、十分理解できない点が多かった。
- ・地元の人の丁寧な説明。
- ・満点！
- ・普段何気なく見ている風景でも、よく見ると大地や川、断層があることが分かった。
- ・画像、岩、地質と、実物を次々見られた。
- ・神社の説明はもっと詳しくしてもよかった。（ジオとの関わりが今一つわからなかった）
- ・関連している歴史と地質のことが興味深かった。

### 3. 説明はよかったですか？



### 4. どの説明がよかったですか？

- ・①飯山南コミュニティセンター、③法敷寺跡、④讃留霊王神社（桑島氏）、⑦八幡神社、⑧寺井出水、⑩上法軍寺断層、⑪王子神社
- ・どの説明もよかった(2)。
- ・讃留霊王神社の歴史
- ・断層実験の映像がとても分かりやすく、おもしろかった。(2)
- ・歴史、地層
- ・④讃留霊王神社（桑島氏）と⑨大窪池の讃岐の水事情
- ・地元の方の神社の説明
- ・ジオガイドの事前の調査、まとめ、長谷川先生の全体説明
- ・④讃留霊王神社
- ・①飯山南コミュニティセンター、②逆さま川、③法敷寺跡、④讃留霊王神社（桑島氏）、⑨大窪池
- ・ゆっくりと話してくれていたの、どの説明も聞きやすかった。

図3（1） ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト探訪「飯野山南の土器川・大東川（丸亀市）」アンケート結果

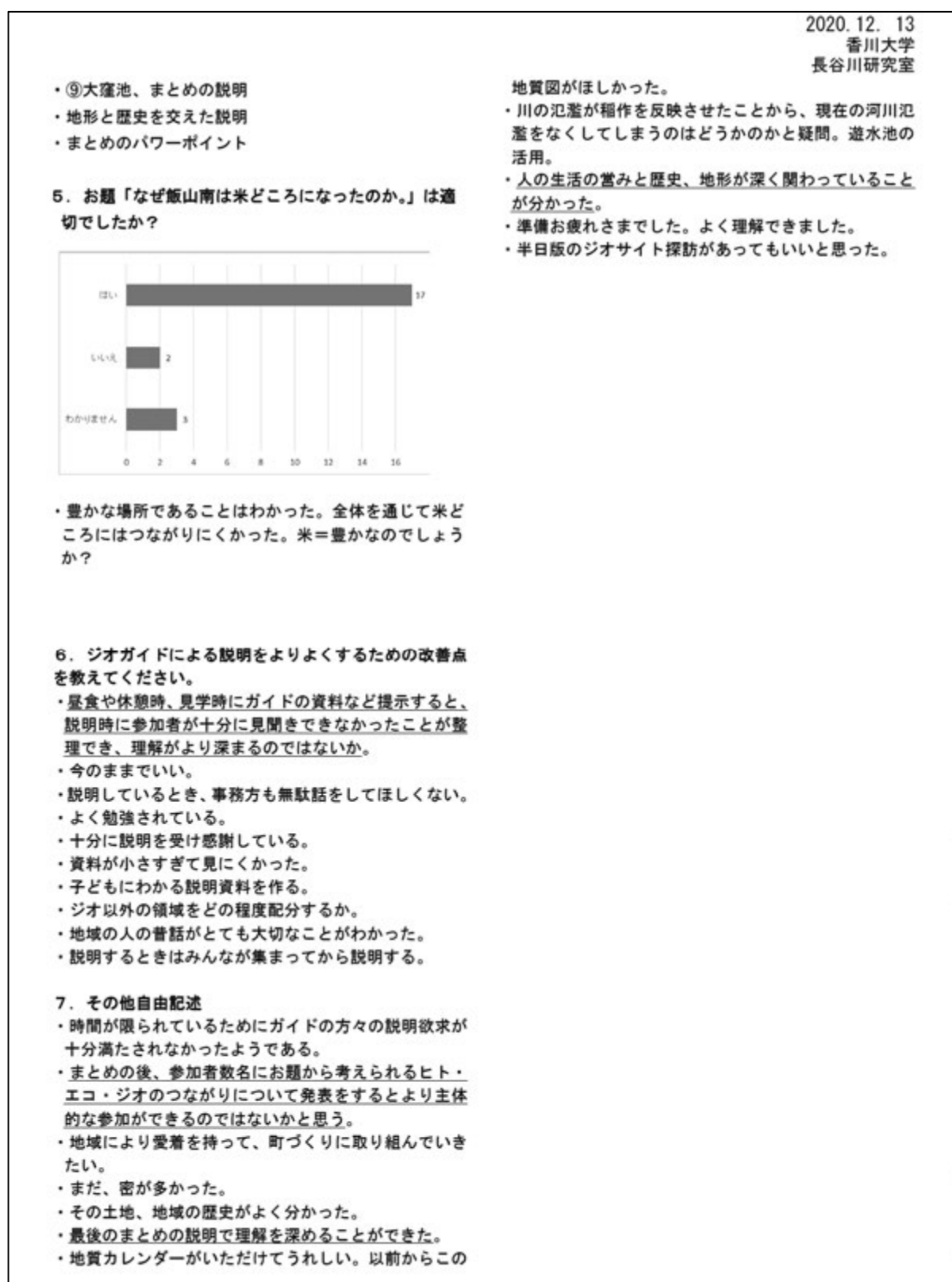


図3（2） ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト探訪「飯山南の土器川・大東川（丸亀市）」アンケート結果2



## 【令和2年度 公開講座受講者アンケート集計結果】

講座名「ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト(2)」

受講生 29名(回答 21名) 実施日: 12月13日

(全体)

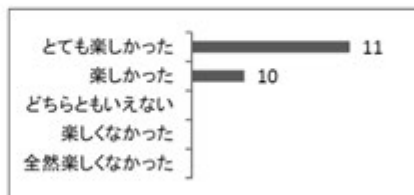
性別	男性	女性	不明					
	6	5	10					
年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代～	不明
				1	5	11	4	

(回答者)

公開講座への参加	初めて	2回目	3回目以上	不明		
	2	6	12	1		
この講座への参加	初めて	2回目	3回目以上	不明		
	2	6	12	1		
講座を知った媒体	チラシ	ポスター	広報誌	新聞	インターネット	センターからの案内
					4	12
	その他	不明				
	3（知人から）	2				

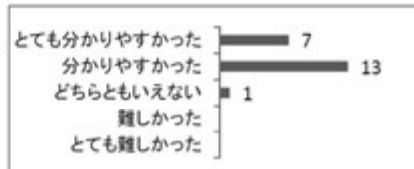
## 1 講座の感想をお答えください。

とても楽しかった	11
楽しかった	10
どちらともいえない	
楽しなかった	
全然楽しなかった	
無回答	



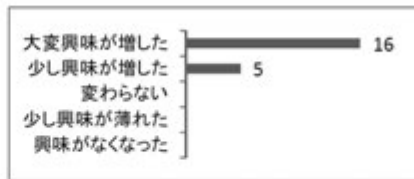
## 2 内容はよく理解できましたか。

とても分かりやすかった	7
分かりやすかった	13
どちらともいえない	1
難しかった	
とても難しかった	
無回答	



## 3 テーマへの興味が増えましたか。

大変興味が増した	16
少し興味が増した	5
変わらない	
少し興味が薄れた	
興味がなくなった	
無回答	



## 4 また参加したいと思いますか。

積極的に参加したい	14
機会があれば参加したい	7
どちらともいえない	
あまり参加したくない	
もう参加したくない	
無回答	

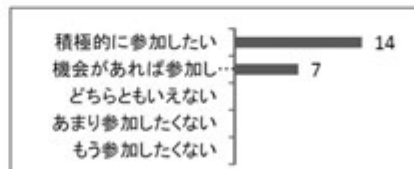


図4 香川大学公開講座アンケート結果



# ジオパーク×防災 シンポジウム

## — 大地の成り立ちから考える持続可能な地域づくり —

大地と私たちのつながりをテーマとするジオパーク(大地の公園)の視点から地域の強みと弱みを知り、持続可能な地域づくりと防災について一緒に考えませんか？

- 13:30-13:35 開会挨拶 吉田 秀典 (香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構 機構長)
- 13:35-13:40 来賓挨拶 工代祐司 氏 (香川県教育委員会教育長)
- 13:40-13:50 趣旨説明 長谷川 修一 (香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構 副機構長)
- 13:50-14:30 基調講演1 異 好幸 氏 (神戸大学高等研究院海共生研究アライアンス長・教授)
- ジオパーク:世界一の「変動帯」日本列島に暮らすということ
- 14:30-15:10 基調講演2 中川 和之 氏 (時事通信解説委員、日本地震学会理事)
- 大地がもたらす恩恵と災いをジオパークで発見する
- 15:25-16:45 パネルディスカッション「ジオパークの視点による持続可能な地域づくりと防災」
- コーディネーター: 金田 義行 (香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構 副機構長)
- パネリスト: 今岡 幹典 氏 (讃岐ジオパーク構想推進準備委員会副委員長、香川県防災士会 理事)
- 新聞 得央 氏 (株式会社瀬戸内海放送取締役専務執行役員)
- 高橋 司 氏 (四国西予ジオパーク推進協議会 事務局長)
- 野々村 敦子 (香川大学創造工学部 准教授)
- 吉岡 修一 氏 (国土交通省四国地方整備局四国山地砂防事務所 副所長)
- 16:45-16:50 閉会挨拶 末永慶寛 (香川大学創造工学部 部長)

\* 新型コロナウイルスの状況によっては、講師は遠隔参加の可能性あります。



異 好幸 氏

NHK「ジオ・ジャパン1、ジオ・ジャパン2」で監修・解説を務めた。著書に『地震と噴火は必ず起こる』(新潮選書)、『和食はなぜ美味しい - 日本列島の贈り物』(岩波書店)ほか多数。



中川和之 氏

出身地での阪神大震災に衝撃を受け、大地の変動を子どもたちと学ぶ学会活動を20年超、日本ジオパーク委員会委員10年。

2020年9月26日(土)

13:30-16:50(受付:13:00~)

香川大学幸町キャンパス  
OLIVE SQUARE 多目的ホール  
オンラインで同時配信

### 【申込み・問合せ】

香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構

TEL 087-864-2544, FAX 087-864-2549,

E-mail: kikikanri@kagawa-u.ac.jp

※ 会場参加申込み締切: 9月18日(金)

※ Web 参加申込み締切: 9月23日(水)

### 【注意事項】

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会場にお越しの際は、マスク着用、手指消毒にご協力ください。なお、会場に入る前に実施する検温で、体温が37.5度以上の方は入室をお断りさせていただきます。

主催: 香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構、香川大学創造工学部

共催: (一社)四国クリエイティブ協会、神戸大学高等研究院海共生研究アライアンス、讃岐ジオパーク構想推進準備委員会

後援: 国土交通省四国地方整備局、香川県、香川県教育委員会、放送大学香川学習センター、(公社)土木学会四国支部、(一社)日本応用地質学会中国四国支部、(公社)地盤工学会四国支部、香川県防災士会、かがわ自主防災連絡協議会、NPO法人日本ジオパークネットワーク

図5 香川大学 ジオパーク×防災シンポジウム (令和2年9月26日開催)

R.2.9.26

## 香川大学 ジオパーク×防災シンポジウムアンケート結果（抜粋版）

香川大学長谷川研究室

（回答者 179 名）

## 問1 年齢と性別

## 【年齢】

70 歳以上 36 名  
 60 歳以上 55 名  
 50 以上 30 名  
 40 歳以上 25 名  
 30 歳以上 14 名  
 20 歳以上 14 名  
 20 歳より下 7 名

## 問2 性別

男性 139 名 女性 40 名

## 問3 住所

香川県 115 名 徳島県 12 名 愛媛県 8 名  
 大阪府 6 名 広島県 5 名 岡山県 5 名  
 島根県 4 名 東京都 3 名 高知県 3 名  
 埼玉県 2 名 静岡県 2 名 兵庫県 2 名  
 和歌山県 2 名 秋田県 1 名 茨城県 1 名  
 富山県 1 名 長野県 1 名 愛知県 1 名  
 鳥取県 1 名 山口県 1 名 長崎県 1 名  
 熊本県 1 名

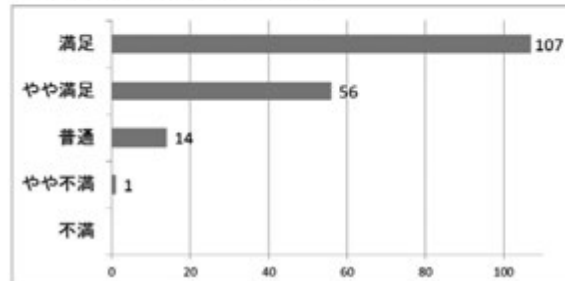
## 問4 職業

会社員 . . . . . 59 名  
 公務員、団体職員 . . . . . 20 名  
 研究・教育機関等の教員や研究者 13 名  
 自営業 . . . . . 11 名  
 大学、高専、専門学校等 . . . . 14 名  
 高校生 . . . . . 2 名  
 主婦・主夫 . . . . . 4 名  
 無職 . . . . . 21 名  
 その他 . . . . . 8 名  
 自主防災関係者 . . . . . 10 名  
 ジオパーク関係者 . . . . . 17 名

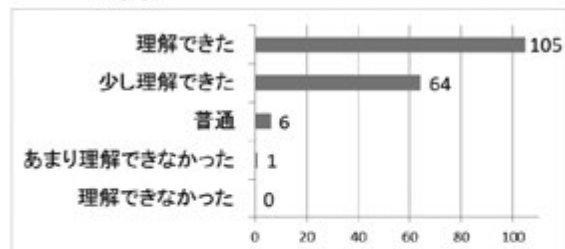
## 問5 シンポジウムを何で知ったか？

新聞・テレビ・雑誌 . . . 2 名  
 チラシ . . . . . 18 名  
 メール . . . . . 80 名  
 香川大学ホームページ . . 10 名  
 インターネット検索 . . . 4 名  
 SNS . . . . . 6 名  
 知り合いの紹介 . . . . . 54 名  
 その他 . . . . . 18 名

## 問6 「シンポジウム」の満足度



## 問7 「ジオパーク」の視点から見た「防災」の理解度



## 問8 「ジオパーク」の視点から見た「地域づくり」についての理解度

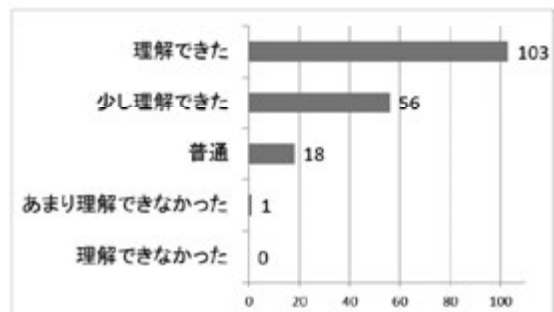


図6（1） 香川大学 ジオパーク×防災シンポジウムアンケート結果 1



R.2.9.26

## 9. シンポジウムの満足度について

- ・ジオパークの本質は「草の根運動」。いままでこの点を強調する人はいなかった。
- ・ジオパーク、防災、地学と別々の捉え方をしているところがあったが、それぞれのつながりを考えることができた。
- ・ジオパークへの取り組みの意義・意味がよく分かった（4）。
- ・地質学・地震学の基礎的なことや最先端の情報について、また、他GPにおける参考事例を学ぶことができた。
- ・地域振興、地域防災に力点が置かれたこと
- ・香川県と他場所を、もっと繋げてほしい。他県に行って香川県をアピールする。
- ・防災に対するジオパークの在り方について、多様な意見を聴くことができた。
- ・基調講演をはじめ、パネルディスカッションの話題提供もわかりやすいお話しだった。
- ・充実した内容で、基調講演の講師選択（内容）がよかった。
- ・基調講演、シンポジウムのパネラー等すべて大変分かりやすく興味を持って聴講する事が出来た。
- ・その一線で活躍の先生方のお話が聞けました。パネルディスカッション 各分野についての取り組みを開けた。

## 10. 防災について理解できたか？

- ・覚悟を持つことが大切。香川に災害が少ないため考えが不足していた。
- ・その土地の成り立ちや自然災害の歴史を知っておかないと、有効な防災意識をもつことができない。
- ・外から見れば観光、内に語れば防災。次は子どもたちにどう語っていくか考えたい。
- ・全体的な事は理解できた。各地域の具体的なジオパークと防災のつながりを知りたい。
- ・覚悟、語り継ぐ、紡いでいく、事の重要性。（2）
- ・事例が多く紹介され分かりやすかった（2）
- ・今までジオパークと言う言葉を知らなかったのも、今後知れる機会を増やして欲しい。
- ・地域の成り立ちの背景と災害が密接につながっていると感じた。
- ・ジオの観点から災害への危機感を高め、防災につながると理解した。
- ・長谷川先生の「私たちは災害でできた土地で暮らしている」という言葉が印象に残った。
- ・日本の国は美しい自然（景色、食文化）の恩恵もあるぶん災害と隣あわせだと実感した。

## 11. 地域作りについて理解できたか？

- ・持続可能な地域作りをしていくためには、その土地の成り立ちや自然災害の歴史を知っておく必要がある。
- ・覚悟、地域の成り立ちを知れば意識も変わると思った。子どもたちに伝えたい。
- ・ジオパークは地域と切り離したものではなく、一体となっているものである。
- ・自分たちが住んでいるところの地形、地質にも興味や理解を示すことでより地域についても理解が深まる。
- ・ジオパーク構想は持続可能な地域づくりに直結した構想だと思った。
- ・「災害の共有」を行うためにもジオパーク構想を推進し、地域住民の災害への危機意識を高める必要がある。
- ・地域の特色をたくさんの人に知ってもらい、当地に来てもらうことが地域の活性化に繋がる。

## 12. ご意見、ご感想

- ・積極的にYouTube等への発信を望む。
- ・地方に住む私たちを、標準モデルとか大多数モデル統計などで、くくることを止めて欲しい。
- ・時間や会場の関係があると思いますが質問等をして自分の知識向上を図りたいです。
- ・地域の皆さんに防災等の視点を含む讃岐ジオパーク構想についての啓発が必要だと思います。様々な取組を役所・図書館等や広報誌などで情報発信することなども有効だと思います。
- ・地区防災計画等に参考にするため、各地区の情報（地質情報、災害や防災対策等）をホームページに掲載してもらいたい。
- ・定期的に状況報告を兼ねたシンポジウムを開催していただきたい。
- ・1方向の配信だけではなく、Web参加者も質問できた方がよい。
- ・ジオパークの語り部の育成が重要だと感じた。
- ・四国在住の一般の方々に、いかに周知・徹底するかが今後の課題となる。
- ・若い世代へも教育していく必要はあるが、地元の自治会などを活用し広めていくことも必要である。

図6（2） 香川大学 ジオパーク×防災シンポジウムアンケート結果2